



# 国際ロータリー第2790地区 千葉南ロータリークラブ会報

## THE ROTARY CLUB OF CHIBA SOUTH

〔創立〕1964年3月2日   〔例会日〕毎・金曜日12時30分   〔例会場〕オークラ千葉ホテル  
 〔会長〕竹尾 白   〔幹事〕橋口 徹   〔会報委員長〕松尾 博之  
 〔事務局〕〒260-0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階   (☎043-245-3204)

2014-2015年度

### 第2463回



平成26年8月29日(金)点鐘12:30 《曇り》

- ◆◆ロータリーソング『R-O-T-A-R-Y』
- ◆◆四つのテスト ～言行はこれに照らしてから～
  1. 真実か どうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるか どうか

#### ◆◆お客様紹介

《本日のゲストスピーカー》  
 弁理士 小林 博様(元青年海外協力隊隊員)  
 《千葉ロータリークラブ》 門山 宏哲様

#### ◆◆会長挨拶及び報告 竹尾 白会長

だいぶ過ごしやすくなりましたが、9月半ば頃からまた暑くなるとのことですので、皆様お体にお気をつけください。

さて、ゲストスピーカーの小林博様、本日はようこそお越し下さいました。後程、タンザニアのお話をよろしくお願ひ致します。また、千葉クラブの門山会員、ご出席ありがとうございます。

地区会員増強・退会防止セミナーが8月23日に開催され、北原会員増強委員長と橋口幹事と私が出席してまいりました。それから、24日には地区米山記念奨学委員長セミナーが開催され、大塚委員長と私が出席いたしました。ロータリーデーBBQ大会が9月6日(土)に米山奨学生学友会主催で東京情報大学にて開催されますので、金親会員、大塚会員と私が参加してまいります。

#### ◆◆委員会報告

##### ◇会員増強委員会(北原 俊彦委員長)

23日(土)に地区会員増強・退会防止セミナーに出席してきました。当クラブの会員増強が全体の中で目立ったようで、パネラーとして、4人話しをするうちの一人として話しをしてまいりました。

報告するテーマが三つありまして、一つは会員増強に成功した要因及び事例について、二つ目が退会防止にあた

ってどのような考え又は対策をとっているか、三番目は、今後の女性会員増強についてどのような考えですか、ということでした。私は特に一番目と三番目に大変興味がありまして、一番目の会員増強に成功した事例ということで、当クラブの50周年記念ということで、50名で50周年を祝おうではないかというキャッチフレーズの話をしました。皆様ご存知のように4月4日に記念式典を行ったわけですがその時は51名でした。期末では49名です。その間、2名の退会でございます。

会長、幹事、私の3名が出席し、総勢200名位の会員が全クラブからお集まりになっていました。グループ討論に参加して得た感想なんですが、入りやすい環境を作る、退会者を少なくするための例会づくり、新入会員が例会に出席しやすい環境整備、それからもう一つは、私の個人的な見解ですが、女性会員が総勢の20パーセント位は入会していただくということがいいんじゃないかと思ひます。当クラブは、現在6名ですので、あと4名ほど空きがございますので、是非皆さんからの情報を期待しております。

また、メーキャップの取り扱いについてもできるだけ緩和をしていければという提案をこれから理事会にかけていきたいと思っております。

##### ◇活動計画書について(植松 省自直前幹事)

訂正とお詫びです。活動計画(2014-2015)の15頁に市長のごあいさつが載っております。ところがどういう経緯かわかりませんが、昨年度のものそのまま載ってしまいました。市長には誠に申し訳なかったのですが、そのことを市長の秘書室からお電話をいただきまして、慌てて当日お詫びに上がり、皆様に差し替えの本年度のごあいさつをきちっとお伝えするというお約束でご了解をいただきました。秘書室の方のお話ですと市長はやはり今年度皆様にお話したいことを記載したということでございますので、あらためて15頁にかわって、この差し替え版を読んでいただければと思ひます。

なお、配布した関係ロータリークラブ等にはお詫びの言葉とともにこの本年度の挨拶文をお送りいたしました。

#### ◆◆ニコニコボックス報告

##### 《竹尾 白会長・橋口 徹幹事》

小林博様、本日は卓話を宜しくお願ひ申し上げます。  
 ガバナー補佐訪問、ガバナー公式訪問で活動計画を3回もお話しいただいて各委員長さんにはご協力いただき、有難うございました。

## ≪小林 透会員≫

ゲストスピーカーの小林様、本日は、アフリカでの体験の話し、楽しみにしています。

## ≪斎藤 昌雄会員≫

小林様の奥様とは、30年来の知り合いで、長男と長女が3歳の時からヤマハのピアノ教室でお世話になりました。本日の卓話、宜しく願い致します。

## ≪末吉 淳子会員≫

東北方面に湯治にしばらく行ってきました。足腰は大分楽になって良くなった感じですが、頭の方には効果がなかったようでした。頭の方に効く温泉をご存知の方は、お教え下さい。

本日のニコニコボックス	11,000 円	累計	294,000 円
金の箱	1,398 円	累計	5,550 円

## ◆◆ 出席報告 (会員数50名)

出席者数32	欠席者数18	ビジター 2	修正出席率 次回にて
--------	--------	--------	------------

千葉市内例会変更のご案内 [メーキャップにご利用下さい。](#)

千葉RC	月	9/22・10/20	三井ガーデンホテル千葉
千葉西RC	火	10/14・10/28	センシティタワー「東天紅」
千葉幕張RC	火	9/9・10/10	アパホテル&リゾート東京ベイ
新千葉RC	水	10/15・10/29	京成ホテルミラマーレ
千葉北RC	水		ホテルポートプラザちば
千葉中央RC	木	10/16・10/30	三井ガーデンホテル千葉
千葉港RC	木	9/11・9/25	京成ホテルミラマーレ

## 本日の卓話

演 題⇒『タンザニア体験記』

卓話者⇒ 弁理士 小林 博様

(元青年海外協力隊隊員)



小林特許事務所 弁理士の小林です。二年ほど前にこちらで「知って得する知的財産権」という話をさせていただきました。今日は普段の仕事とは全く別なタンザニアの話を行います。

さて、私がアフリカタンザニアに2年3ヶ月滞在し、体験したことをお話します。計算すると120万分のタンザニア生活、これを30分で話すのは無理なので、私が書いた一冊の書物をご興味ある方には差し上げますのでお読みください。

アフリカの国境線は、ヨーロッパの決めた植民地の境界線です。ヨーロッパが勝手に決めた境界線をその後アフリカの国々が独立していったという経緯があります。だから、ほとんどの国が多民族国家で、民族対立や部族間抗争が起き易いといったバックグラウンドがあります。

私は、東アフリカのタンザニアに青年海外協力隊として、

平成元年から3年まで、2年3か月派遣されておりました。なぜアフリカまで行ったのですか？とよく聞かれるのですが、単純な話で、20代後半にある経営セミナーであなたの夢を書きなさいといわれ、エンジニアのサラリーマンだった私は「僕は来年の今頃、アフリカのサバンナの大地で走り回っている」と書きました。書いてしまったからには行かなければかっこ悪いなということで青年海外協力隊に応募し、日本を脱出したという経緯です。

タンザニアは南半球に位置し、キリマンジャロ山が有名です。インド洋に面した首都ダルエスサラームに住んでいました。アラビア語で「平和な港」を意味する港街です。タンザニアの宗教は、イスラム教徒、キリスト教徒、土着宗教それぞれが三分の二つずつでしょうか。政治的には単独政党の社会主義国家です。初代大統領ニエレレはイギリスに留学した学校の先生だった方で、タンザニア建国の際、「ウジャマー精神」というものを国造りの基本としました。これはスワヒリ語で「家族愛」を意味し、「国民皆兄弟、争いはやめて皆で助け合おう」という精神です。タンザニアは多民族国家で120以上の部族があります。マサイ族もその部族の一つです。

スワヒリ語には敬語の挨拶があります。年長の人に「シカモー」と敬語挨拶をします。「シカ」掴む。「モヨ」心。「シカモヨ」→「シカモー」。「どうか私の心を掴んでください」という意味だろうと解釈しています。

タンザニア人はスワヒリ語、スワヒリ文化に誇りを持ち、「融和」を尊重する国民性です。タンザニア人はポジティブな事しか言わないんです。マラリアにかかっているでも「具合悪い」「調子悪い」とは言わないんです。そう答える人は本当に死にかけている人だけです。

ただし、知らないことも「知っている」とか、経験ないことも「経験あるよ」とかよく言うので、多少注意した方がいいと思います。みんなが貧しいから、皆で仲良く楽しくポジティブに生きているということでしょうか。今は貧富の格差が増え、ダルエスサラームの街も治安が悪化してきている様子だそうです。

当時私が住んでいたころ在住する日本人は100人いなかったのではないかと思います。ですが、走っている車の70%は日本車です。松下乾電池工場もあり、鹿島建設が道路や橋そして田んぼをつくり、有名です。忍者映画がヒットしており、街中では日本製の中古衣類や電化製品がよく売られています。

突然ですが皆様にお尋ねします。「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり・・・」この続き言えますか？ 職場の電気エンジニアに「お前、日本人なら平家ストーリー言えるよね？」と聞かれたんですよ。また、「松下幸之助は大学を出ていないというのは本当か？」とも聞かれました。彼らは、私を通じて日本を知りたがっている、私の言動・思想・知識を見て「これが、日本人なんだ！」と理解しようとしていました。

私は現地の仕事として印刷関連機器のメンテナンスを担当していました。

また、仕事が終わった後、ダルエスサラーム大学で少林寺拳法を教えていました。忍者映画のヒットにより、日本の格闘技に興味を持つ人がたくさんいます。

「We love justice, respect humanism, observe courtesy,

keep peace and determine to be a true brave men.]

「我らは、正義を愛し、人道を重んじ、礼儀を正し、平和を守る真の勇者たることを期す。」単に格闘技を教えることだけではなく、日本文化の伝承というつもりで教えていました。現在、タンザニアは世界少林寺拳法連盟に所属し、私の弟子のひとりがタンザニア支部長に就任しています。

私は青年海外協力隊の一隊員でした。JICA 職員・専門家・民間企業の社員でもないのでハード面・資金面の支援は全くできず、唯一貢献できるのはこの肉体だけでしたので、現地の人との交流とか、印刷機械のインキや油まみれになったり、同じ食べ物を手づかみで食べ、笑い、語り、クリスマスやラマダンは一緒に祝ったり、日本文化を話したり、そういうことをしていました。

アフリカでの体験で何を学んだかを一つ挙げるとしたら「答えは自分で見つけなさい」ということです。すべての社会問題は「人の成長」によってしか根本的に解決できないような気がします。どんなに資金を与えても、どんなにノウハウを提供しても、どんなに手伝ってくれる人がいても、どんなに最新の設備があっても、国家は繁栄できない場合もあるのではないかと思います。逆に人が成長すれば、多くの問題が解決していくのではないかと私は感じました。「自助努力」という言葉の意味を知らずアフリカへ行きましたが、向こうに行ってこのキーワードの意味を納得しました。例えば、川に橋を掛けたら、別の場所にも橋を掛けてくれ、と要求してきます。そうではなく、泳ぐ方法を教えれば良いのです。泳げない人もいながら橋を掛ける方法を自分たちで学ぶようになると思います。他人依存でなく、自助努力できれば成長が早く、ほっておいても勝手に進歩するのではないかと思います。答えのある勉強は高校で終わりであり、社会人になって問題に直面したら答えは自分で見つけるのではないのでしょうか。文化・習慣・宗教・言語が違えば、さらに答えが沢山あります。自分が人を動かすなんてどだい無理な話です。人が動くときは、勝手に動いちゃうんじゃないかと思います。

実際にあった話ですが、少林寺を教えていた時、ダルエスサラーム大学の学生が民主化を要求し、学内バリエードを建てたことがありました。学長がバリエードの撤去を要求したが、学生は拒否。すると学長が軍隊を要請し、学生は逃げました。実は大統領が学長なんですから、学長に逆らうことは大統領に逆らうことと同じです。しばらく少林寺練習場のダルエスサラーム大学は封鎖されたので、休みにしました。すると弟子たちが、「先生、来週は小学校の校舎を借りました。ぜひ教えに来てください。」と言ってきたのです。彼らは自分たちで何とか解決しようとするようになってきたのです。人は「動かす」ものではなく、「動いちゃう」ものだと感じました。少林寺拳法を学ぶと肉体的にも精神的にも強くなれるんじゃないかという未来を感じることができる、また、みんなに尊敬される、中には女の子にもてるんじゃないかという未来を感じるという弟子も。だから、どうしたら人が「動いちゃう」のかを考えた方がいいのではないかと。この点は、世の中の常識と、もしかしたら私の発想は違っているのかもしれない。デールカーネギーの「人を動かす」という本がありますが、人を動かすのではなく、人が動きかけを与えるか、人が動いちゃう方法を考えることが大切だと思います。

す。

タンザニアで、私が動いちゃった話ですが、指示されたのではなく、動かざるを得なかった、見方によれば悪業を暴露することになってしまうのですが……。任期中にケニアに支社があるデンマーク商社に就職活動をしていたり、ケニアから持ち込んだ一升瓶の日本酒を、「これは仏教の聖水でお酒でない。」からと関税を払わなかったり、コレラワクチン接種をしたと言って看護婦さんに小遣いを渡して証明書にスタンプ押ししてもらったり、郵便物に関税を掛けられ郵便局長に食ってかかって関税を払わなかったり、夜行寝台列車の1等チケットが欲しかったので、駅長に小遣いを渡して発券してもらったり、税関でカバンを開けられたくない事情があったので、税関員に小遣いを渡してフリーパスにしてももらったり、警察で実地試験なしで自動車免許証を発行してもらったり、バイクが盗まれたので、見つけてくれと刑事に缶ビールと晩飯をおごったらすぐにみつかったり、そのバイク発見後、インド人の友人のトラックで自動小銃を持った警官と泥棒のアジトを襲撃したり、そんなことをしていました。その後、そのバイク盗難事件の件で裁判所の法廷で証人として証言しました。全員タンザニア人で、スワヒリ語だけの法廷でした。その泥棒は懲役刑になったそうです。あと、インド人秘密クラブに初めて出入りが許された日本人でした。

キリマンジャロ登山でポーターと揉めたので少林寺の技を仕掛けて撃退したこともありました。米ドルは銀行でなく、闇で両替をしていました。その方がレートが良いもので……。肉体的なサバイバルは、一度マラリアにかかって死にかけたくらいで、精神的なサバイバルは、結構身についたと思います。

現在、タンザニアやケニアの子供たちと、スワヒリ語で20年以上手紙のやりとりを継続しています。また、タンザニアの少林寺拳法支部を認めてもらうために少林寺拳法の総本山にお願いしに行き、正式な支部として認めてもらいました。アフリカではケニアとタンザニアだけではないかと思えます。帰国してから6年後、インド人の友達や少林寺の弟子に会いにタンザニアを単独訪問しました。新婚旅行はケニアにいきました。あ、奥さんは日本人です……。

アフリカの諺に「アフリカの赤い水を飲んだ者は、またアフリカの赤い水を飲みに行く」というものがあります。私は一生涯何らかの形でタンザニア関わっていきたいなあと思っています。つたない話でしたが、このへんで失礼いたします。ご清聴ありがとうございました。

#### 第2464回例会

日時⇒ 平成26年9月5日(金) 点鐘12:30

卓話⇒ 会員ミニ卓話

#### 第2465回例会

日時⇒ 平成26年9月12日(金) 点鐘12:30

卓話⇒ 『バレーボールクラブチーム創設から

実業団日本一までの道のり』

卓話者⇒ 実業団バレーボールチーム「千葉ゼルバ」

代表者・監督 武石 友之様